

SHO-BOND

遊間部舗装連続化装置

遊間部舗装連続化装置

SHO-BOND

フラット工法

Flat method

国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)登録 KT-120072-A

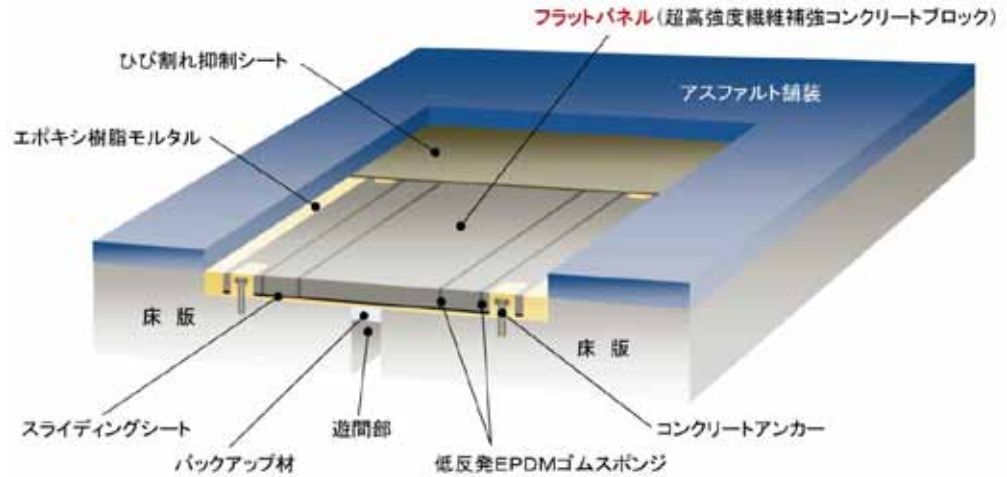


■補修工学[®]—— 構造物の総合メンテナンス企業

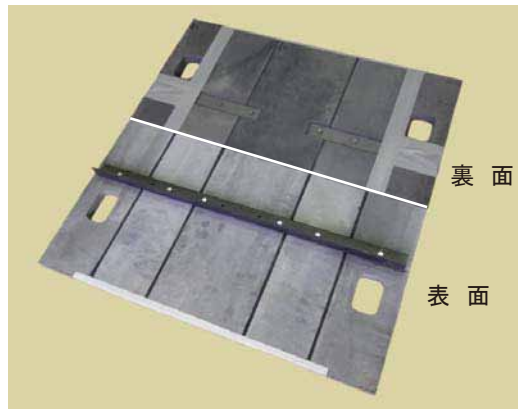
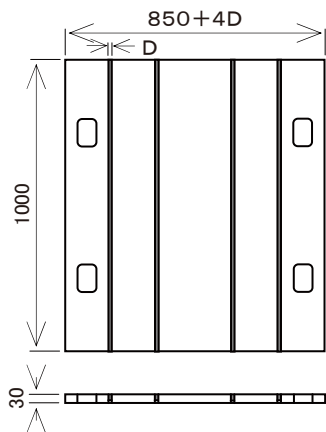
ショーボンド建設株式会社

- 特 長
1. 遊間部の床版上面をフラットにし、等厚の舗装が連続します。
舗装耐久性および走行性が向上し、走行時の騒音がありません。
 2. 広範囲に遊間の伸縮を分散します。
伸縮ひび割れの発生を抑制します。

■標準断面図



■寸 法



■適用範囲

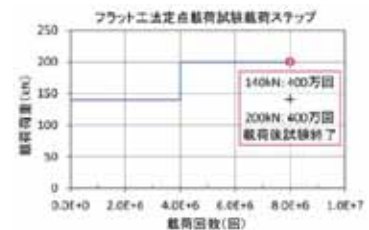
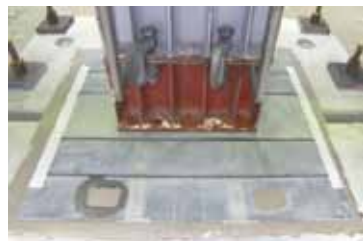
橋 種	伸縮量 (mm)	適用最大床版遊間 (mm)	舗装厚 (mm)
鋼橋、コンクリート橋	30(±15)	70	70以上

* 上記以外の場合は、別途ご相談ください。

■疲労載荷試験結果

フラット工法は設計荷重140kN(100kN+衝撃 $i=0.4$)にて400万回、連続して設計荷重200kN(100kN+衝撃 $i=1.0$)にて400万回の静的疲労試験をクリアしています。

NEXCO製品ジョイント試験規格(H25)に準拠すると30年相当以上の疲労耐久性を有しています。



■ 施工手順

既設アスファルト
舗装撤去

既設伸縮装置撤去

床版上面研り
(40mm)

コンクリートアンカー
の定着

エポキシ樹脂
モルタル打設

連続化装置の設置

ひび割れ抑制
シートの貼り付け

アスファルト舗装
敷設

完 成



1. 既設伸縮装置の撤去



2. 既設舗装、床版、旧伸縮装置の撤去完了



3. 削 孔



4. 樹脂モルタル(JH-3モルタル)の打設



5. 連続化装置の設置



6. 連続化装置の設置完了



7. ひび割れ抑制シートの貼り付け



8. 完 成

● 設計・施工上の留意点

- ・斜角橋の場合は、ご相談ください。
- ・連続化装置の各ブロック間隔は、伸縮量により調整します。
- ・エポキシ樹脂モルタルの硬化時間は、下記を目安にしてください。

夏期タイプ…20℃、3時間／30℃、2時間、冬期タイプ…5℃、6時間／15℃、3時間

■規 格

●エポキシ樹脂モルタル(JH-3モルタル(1:4))の規格値

試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
比 重	JIS K 7112	20℃、7日間	—	1.90±0.20
圧 縮 降 伏 強 さ	JIS K 7208	20℃、7日間	N/mm ²	50以上
圧 縮 弾 性 率	JIS K 7208	20℃、7日間	N/mm ²	1000以上
曲 げ 強 さ	JIS K 7203	20℃、7日間	N/mm ²	30以上
引張せん断接着強さ	JIS K 6850	20℃、7日間	N/mm ²	7以上

■施工事例

●鋼桁橋・PC中空桁橋・PCT桁橋等(直橋、斜橋)・沈埋トンネル



施工状況



設置完了(舗装前状況)

沈埋トンネル内目地部 (施工箇所/東京港第二航路海底トンネル:東京都発注)

■製造元

ショーボンドマテリアル株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台 2-8-10 TEL.049(225)5611(代表)

<http://www.sb-material.co.jp>

■販売元

ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 7-8 TEL.03(6861)8101(代表)

<http://www.sho-bond.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

●取扱い営業所

F-18

2014年5月版